

令和元年度  
地方創生推進交付金事業  
評価資料（別冊）

④四万十町で育てる取り組み（ステージ別の人材育成プログラムの推進）

【目次】

令和元年度事業報告

「未来塾」事業	・・・	1～7
「四万十塾」事業	・・・	8～12
「産業振興塾」事業	・・・	13～17

令和2年12月9日

四万十町人材育成推進センター

〈令和元年度事業報告書〉

【未来塾】 ～わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成～

施策1 四万十町高校応援大作戦

町内高校の存続と魅力化を将来のまちの課題としてとらえ、地域や行政、関係機関との連携のもと効果的かつ持続可能な魅力ある学校づくりを目指す。

① 町営塾「じゅうく。」の運営

概要

町内高校の魅力化推進の柱として、生徒一人ひとりの希望進路の実現を応援するため、放課後の学び場を設定し、意志を持って主体的に行動できる生徒をはぐくむ。

実施状況

- ①事業内容 窪川高校生・四万十高校生の学力向上支援  
(教育支援センター通室生への支援)
- ②開塾日数 くぼかわ教室…167日/4～2月まで  
しまんと教室…137日/4～2月まで  
※令和2年3月は新型コロナウイルス感染症対策のため休室(オンライン対応)
- ・開室曜日及び時間  
くぼかわ教室…月・火・木・金 16:00～21:00  
しまんと教室…火・木・金 16:30～21:00
- ③通塾生の状況(令和2年2月現在)
- ・通塾申請者数 くぼかわ教室 45名/77名中(うち定期通塾平均31名)  
しまんと教室 25名/58名中(うち定期通塾平均15名)
- ・学習時間 くぼかわ教室 2時間16分(平均滞在時間)  
(1日平均) しまんと教室 1時間43分(平均滞在時間)



④学習指導等 <学ぶ意欲・学ぶ力・学んだ力>

それぞれレベルにあった個別学習指導を基本に、ICT教材、英検対策、受験対策冊子を活用、また、希望生徒にはオンライン英会話を実施。

定期テスト前はグループ学習として対策直前授業も実施した。

・学習指導内容等

個別面談…学習目標・計画の設定、定期テスト振り返り

個別学習…宿題・ICT教材のチェック等サポート、検定(英検・漢検)・進学補習サポート、個人教材補助など

(ICT教材の活用状況)

「すらら」 43名

「学びエイド」 12名

「オンライン英会話」 9名

集団学習…定期テスト前の科目授業(英語・数学)

キャリア教育講座(週1、年間25講座)

次世代型キャリア教育教材 ENAGEED を活用し1年間の定期講座実施

くぼかわ教室…8名、しまんと教室…6名

・その他（特別企画）

「それって ホント会」 人材業界におけるトレンドを知ろう  
 株式会社リクルートキャリア 関口伸之氏  
 しまんと未来大学「e-sportsについて知ろう」（共同主催）  
 高知県eスポーツ協会 理事 谷本雅章氏

⑤ 高校との情報共有（生徒情報等）

窪川高校 …月次定例会開催、高校の進路検討委員会に参加  
 四万十高校…月次報告会（教頭、進路指導部長）を開催

⑥ 「じゆうく。」通信の定期発行（毎学期）

**町営塾「じゆうく。」活動報告レポートVol.2**  
 2020  
 Happy New Year  
 本年も、「じゆうく。」をどうぞよろしくお楽しみします！

**通塾状況 9月～12月**

項目	9月	10月	11月	12月
1日平均利用者	33人	35人	33人	31人
定期通塾生	17名	18名	16名	12名

**じゆうく。生徒インタビュー**

成績が35点 伸ばした cool guy!

大好きになった 努力の成果!

勉強以外に大切なことあり！「できるべし」

勉強以外の大切なことあり！「できるべし」

勉強以外の大切なことあり！「できるべし」

勉強以外の大切なことあり！「できるべし」

⑦ 成果等

- ・ 週1回以上の定期通塾生が登録制の7割以上
- ・ 両校全校生徒の半数以上が塾登録生
- ・ 定期テストの目標点数の達成、基礎力診断テストの成績ランクアップ
- ・ 検定合格者6名（英検：3級3名、準2級2名、2級1名）
- ・ 通塾状況の前年度比較（2018⇒2019）
 

	(1日平均利用者)	(定期通塾生)
くぼかわ教室	14.5名⇒17.4名	25名⇒31名
しまんと教室	5.7名⇒10名	10名⇒15名
- ・ 利用者アンケート  
 (質問内容) (2018⇒2019)  
 塾で目標を設定し努力した ※「ややそう思う」以上 83% ⇒ 96%  
 塾に通って学習意欲が向上した※「ややそう思う」以上 69% ⇒ 79%

課題・方針等

- ◎ 町営塾の明確な成果指標の設定（内面的な変化～数値目標）
- ◎ 町営塾の広報強化（特に中学生）と保護者アプローチ
- ◎ 質の高い学習機会提供と町営塾の役割確立…まちの教育の魅力として継続

② 高校魅力化コーディネーターの配置	
概要	高校の特色ある教育活動の魅力をさらに進めるため、地域や行政とのパイプ役のもと、多様な教育環境づくりと社会に開かれた学校づくりを推進する。
実施状況	窪川高等学校と四万十高等学校に「高校魅力化コーディネーター」を配置 (窪川高校) <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習時間の企画及び授業、キャリア教育サポート</li> <li>・学校広報、学校案内作成及び生徒募集支援</li> <li>・行政、地域及び町営塾との連絡調整</li> <li>・学校の行事や会議等への参加による情報共有</li> </ul> (四万十高校) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校広報(学校案内作成・ホームページ等)</li> <li>・生徒募集(県外募集)支援、県外生徒対応</li> <li>・行政、地域及び町営塾との連絡調整等</li> </ul>
課題・方針等	◎ コーディネーターの役割と業務内容の明確化 ◎ 学校内課題の共有による優先業務の選定 ◎ 学校内部(教員)の理解と中学校との連携強化分野の検討



③ 通学助成事業	
概要	町内高校に通学する生徒の保護者負担軽減と町内高校への進学促進等を図る。
実施状況	> 四万十町高等学校通学費助成金(R元決算2,784千円、窪川20人、四万十10人) 公共交通の定期乗車券購入費の1/2補助。 ただし、町内月額3,000円及び町外月額5,000円を超える部分を全額補助
課題・方針等	◎ 周知強化と事務処理の簡素化

④ 高等教育体験事業	
概要	高等教育機関への訪問や学生交流を支援し進学に対する動機づけを向上させる。
実施状況	大学オープンキャンパスへのバスツアー (訪問大学) 高知大学・高知工科大学・(高知県立大学・高知学園短期大学) (参加延べ人数) 窪川高校8名、四万十高校9名(うち個人参加3名)
課題・方針等	◎ 部活動等により日程調整が難しく、また参加生徒の減少が続いている ◎ 令和2年度より個人(親子)参加とする

⑤ 高校生海外研修事業	
概要	異文化の環境で英語に親しみ、国際的な視野を広げるとともに、ふるさとに愛着と誇りを持ち、様々なことに挑戦する意欲をはぐくむ。
実施状況	令和元年度四万十町高校生海外研修 (目的) ~ Be a Change maker ~



新しいこと・少し難しいと感じることにチャレンジし、自分自身に変化を起こす。  
「自分にもできた」という経験を通して、自分の可能性に気づき、他者や社会に対して変化を起こす「変化の創り手」になること。

(スケジュール)

H31. 4月 募集説明会～募集締め切り4月末 ※参加者13名決定

R01. 5～7月 説明会、「じゆうく。」にて毎週、英会話等の事前研修

R01. 8/5～8/19 現地研修(カナダ・アルバータ州・カルガリー)

※Japan フェスティバルにて「しまんと新聞ばっく」をPR

R01. 9月 事後研修、レポート等作成

R01. 10/2 研修報告会



(成果と改善点)

- ・自己分析から変化した自分を全員が表現できた
- ・小さな挑戦と成功体験から個々の自信と成長につながった
- ・充実したプログラムや事前事後研修により報告会でも高い評価を受けた

課題・方針等

- ◎ これからの学びにどのようにつなげていくか
- ◎ 英語学習を含み主体的に挑戦できる研修機会の工夫
- ◎ 時差や費用面も考慮し、新たな体験プログラムを検討(令和2年度は休止)

## ⑥ 高校生のための町内合同企業説明会

概要

高校生の就職先の選択肢を広げ将来を考える機会と、町内企業が自社の魅力発信ができる機会を提供する。

実施状況

(事業内容)

新卒者の採用予定等のある町内企業のPRや面談等を通じて、職種や業務内容を

**新型コロナウイルス感染症対策のため中止**  
(実施予定)

**(高校臨時休業のため令和2年3月13日(水)13:00～16:00開催を中止)**

・会場 農村環境改善センター




・参加生徒 窪川高校及び四万十高校の1・2年生(79名)

・参加企業 町内19事業所

⑦ 教育振興会支援事業	
概要	町内外の交流や研修事業、部活動及び寮運営費について両教育振興会を通じて助成を行い、保護者負担の軽減と学校生活の活性化を図る。
実施状況	(事業内容) 窪川高校教育振興会補助金 (R元決算: 1,917千円) 公務員試験対策、学校管理バス、町内外交流に係る移動経費等 四万十高校教育振興会補助金 (R元決算: 3,359千円) 進学補習経費、広報・生徒募集(県外)、部活動、寮運営費補助
課題・方針等	◎ 単なる学校生活支援ではなく特色を活かせる教育活動を支援 ◎ 実績評価基準の設定と学校関係者への周知

## 施策2 教育イベント(「じゆうく。」特別事業含む)

学力向上を柱に、児童生徒及び保護者への意欲醸成を図り、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進する。

実施状況	<p><b>①数学講座</b></p> <p>「明日の数学をもっとおもしろく！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時：令和元年7月21日(日) 13:30~18:00</li> <li>会場：役場東庁舎1階ホール</li> <li>講師：野田 亮太氏 (大手予備校講師)</li> <li>参加者：中高生16名</li> </ul>  <p>7月21日(日) 役場東庁舎 <b>数学楽しく解こう</b> 四万十町有名講師が特別講座 「明日の数学をもっとおもしろく！」 野田亮太氏による特別講座が、役場東庁舎1階ホールで開催された。参加者は、中高生16名。野田氏は、数学の楽しさを伝えるために、身近な例えを用いて講義を行った。参加者は、数学の面白さを実感し、今後の学習意欲を高めた。</p> <p>②シゴトフェス</p> <p>各分野の第一線で活躍しているオトナ10名を四万十町に招き、仕事について、勉強について、自分について、中高生とオトナがともに考えるイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時：令和元年9月8日(日)</li> <li>会場：農村環境改善センター</li> <li>参加者：地元高校生(45人)、中学生(5人)、保護者等(計80人)</li> </ul>  
------	--





⑤プログラミング体験教室

プログラミングの基礎や活用方法などを楽しく学ぶ教室を、児童生徒及び保護者向けに開催。

「プログラミング教育のその先へ」(大人向け)

(講演会、ワークショップ)

- ・日時：2月10日(月) 18:30~21:00
- ・会場：農村環境改善センター大会議室
- ・対象：保護者・教職員(参加者12名)



(午前)「ごみを捨てたくなる光るごみ箱を作ろう」(小学校低学年向け)

(午後)「スクーミーを用いた問題解決ハッカソン体験」(小学校中学年~高校生)

- ・日時：2月11日(火) 午前10:00~12:00 午後14:00~17:00
- ・会場：農村環境改善センター大会議室
- ・対象：児童生徒及び保護者(参加者38名)

普段の生活の身近な課題の解決を、プログラミングを通して解決するアイデアをつくり体験しました。



2020.02.18 高新

小中高生50人が  
プログラミング  
の町高野環境改善セン  
ターで開いた。  
【窪川】高野環境改善セン  
ターの町高野環境改善セン  
ターで開いた。  
4月から小学校でプ  
ログラミング教育が始  
まるのに合わせ、親に



プログラミングの基礎と活用方法を学んだ講座  
(四万十町農村環境改善センター)

も触れてもらおうと開さん(17)、土居源介さ  
いた。教材作りなどを  
行っ山梨市の会社代表  
を講師に迎え、10日に  
大人向け、11日に小中  
高校生向けで開催。約  
50人が参加した。  
11日には、パソコン  
でランブやセンサーな  
どを作動させるプログ  
ラムを作り、「箱の中の  
菓子を食べ過ぎると警  
告音が鳴る装置」を考  
案。きれいに閉じて置い  
てもらえる「立て」など  
を試作した。  
窪川高校2年の川上  
瑞樹さん(17)、谷悠斗



課題・方針等

- ◎ 教育現場独自で取り組むことができない分野を支援
- ◎ 保幼・小・中・高の連携すべき分野抽出と体系的な計画づくり
- ◎ 地域教育の魅力づくりに向けた全体のマネジメント役の確保



【四万十塾】わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成

施策1 地域イノベーター養成講座

**概要** 「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をすれば良いかわからない」等々、そういった想いを抱いた方々が地域の活性化や課題解決をジブンゴトとして捉え、チャレンジし続ける人材を育成する。

**実施状況** ■ 地域イノベーター養成講座  
 委託先：高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室（須藤 順 講師）  
 受講生：10名（うち3名が昨年度からの継続受講）  
 [オープンフォーラム] 開催日：令和元年5月26日（日）  
 会場：四国霊場第37番札所 岩本寺 来場者：38名  
 講師：Community Nurse Company 株式会社代表取締役 矢田 明子



[第1回目] 開催日：令和元年7月13日（土）  
 会場：町営塾「じゅうく。」くぼかわ教室



[第2回目] 開催日：令和元年8月3日（土）  
 会場：地域交流センターたのの  
 講師：株式会社アースエイド 代表取締役 嶋崎 裕也

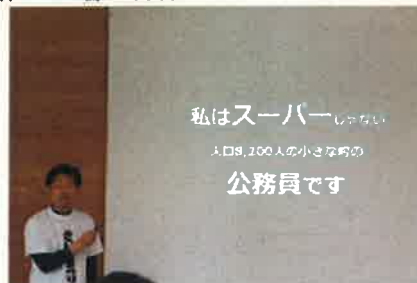


[第3回目] 開催日：令和元年10月5日（土）  
 会場：農村環境改善センター



[第4回目] 開催日：令和元年11月2日（土）  
 会場：四万十町役場本庁東庁舎1階・多目的ホール

講師：埼玉県横瀬町役場まち経営課 田端 将伸



〔第5回目〕開催日：令和元年12月7日（土）

会場：オートキャンプ場ウエル花夢

講師：企業組合でる・そーれ 辻 悦子



〔第6回目〕開催日：令和2年1月26日（日）

会場：四国霊場第37番札所 岩本寺



今年度  
成果

〔地域イノベーター〕今年度任命者 5名 （延べ20名）

⇒ H31年までの任命者目標（KPI） 15名 ※昨年度で目標達成

〔参加者の動向〕

- ・当講座で検討したプランを2名の方が実行に移した。
- ・来年度にトライアルでコミュニティカフェを開催予定。

課題・方  
針等

< 方針 >

地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指す。

< 課題 >

- 長期的な講座となるため、受講生の気持ちを切らせないような仕掛けが必要。
- 講座終了後に、個々が行動に移すための仕掛けが必要。

< 次年度 >

- 「イノベーター養成講座」の名称が何を学ぶかイメージしづらいため、名称変更を検討する。
- 受講生同士が交流できる場の創設
- 同様な講座を展開している他自治体の受講生との交流を図る。（ヤル気を高める）

**施策2 四万十ビジネスプランコンテスト**

**概要**  
 町内の活性化や地域課題をジブンゴトとして捉え「チャレンジする人材」への支援として開催する。当コンテストは、町内で新しいビジネスや事業、その他四万十町を元気にする取り組みを行いたいと考えている方のプランの一つでも実現するために開催する。

**実施状況**  
**■ 四万十ビジネスプランコンテスト**  
 ○募集プラン 四万十町の活性化や地域課題解決に繋がるアイデアやサービス  
 四万十町の資源を活用したアイデアやサービス  
 [最終審査会] 開催日：令和2年2月22日(土)  
 会場：四万十町役場本庁西庁舎1階・ふれあいホール  
  
 ○大賞 親子カフェ「のどまる」in四万十町(中平 麻衣氏)  
 滞在型市民工房アートガルテン(吉田 健一氏)



**今年度成果**  
 [応募プランの実現] 6件(餌木製作、NPO設立、ゲストハウス等の開業)  
 ⇒ H31年までの実現件数(KPI)5件 **今年度で達成**  
 [応募プランの実現予定] 5件  
 [実現に向けた支援体制]  
 町内金融機関・商工会・NPO法人・四万十町役場が1・2カ月に1回の割合で、情報交換会を定期的に開催。また、クラウドファンディング等の紹介も随時行っている。

**課題・方針等**  
 < 方針 >  
 町内で新たな活動を生み出すきっかけとなり、一人でも自分のプラン(夢)を実現できる町になるような取り組みとする。  
  
 < 課題 >  
 ●応募者の確保、応募プランを実現するための支援体制の構築  
 ●応募プラン実現に向け、より良い学びの場の創設が必要

**施策3 トライセクター人材育成事業**

**概要**  
 町内の活性化や課題解決に比較的関心のない人材や、新たな学びを望んでいる人材に対し、様々な知見を提供する事により、町政等への関心を高め、「地域」「民間」「行政」の垣根を超えて、地域の活性化に挑戦する人材(トライセクター)の育成や発掘等行う。



実施状況

### ■ トライセクター人材育成事業

様々な講座等への参加を促し、「学ぶ事」への関心を高め、その他の人材育成事業への参加するきっかけとして開催している。

《委託事業講座》 ※主に小学生を対象とした講座を展開



〔延べ受講者数〕 78名 〔内、新たに人材育成推進事業に参加した者 78名〕

### 《しまんと未来大学》

町の将来を考える上で、必要な自由な発想やおもしろいテーマでの学びや、住民の皆さまが交流できる場を提供する事を目的としている講座。



〔延べ受講者数〕 141名

今年度成果

〔延べ受講者数〕 219名 〔内、新たに人材育成推進事業に参加した者 60名〕

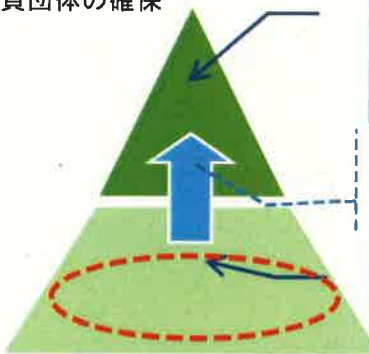
課題・方針等

### 〈方針〉

今まで行政が展開してこなかった講座等を開設する事により、新たな層（人材）の掘り起こしを図る。

### 〈課題〉

- 講座内容（コンテンツ）等の充実や、他の人材育成事業との連携。
- 請負団体の確保



#### 【町の施策に関心のある層】

現在の四万十塾等の受講者は、この層の方が多い。ただし、この層の方々は町が講座等を提供しなくても、自らが進んで研修等を受講する傾向にある。

関心のない層が、参加しやすいような講座等を提供し、少しでも町政に関心を持ち、今後主体的に活動する人材となるような仕掛けが必要。

#### 【人材育成等の施策に余り関心のない層】

町政等に関心がない層。人口減少が続く本町においては、人材育成事業等を通じて、この層の方々が、自ら進んで関心を持つようになれば、地域を支える人材の育成や確保が図られる。

【トライセクター事業の対象となる層】

**施策3 高知大学連携事業**

概要

高知大学とは、①人材の育成に関すること・②高知大学の教育及び研究に関すること・③高知大学に在学する学生の地域学習及び研究機会の拡大に関すること・④四万十町の計画などに関すること等を、具体的かつ実践的に取り組む事を目的に、平成27年3月に連携協定を締結している。現在は、その協定に基づき、町民を対象とした講座や講習会の開設、地場産品等の研究等を協働で推進している。

実施状況

**■ スポーツ交流事業**

高知大学等の運動部と連携し、町内の中学生・高校生の競技レベルの向上と高等教育機関等への関心を深めることを目的に実施している。

第1回 高知大サッカー教室：令和元年11月4日（月）金上野グラウンド

参加者：小学生50名（少年サッカークラブ）

第2回 高知大サッカー教室：令和2年2月11日（火）金上野グラウンド

参加者：小学生40名（少年サッカークラブ）



今年度成果

●高知大学との新たな協働事業が開始した。（生姜の病気対策）

課題・方針等

< 方針 >

高知大学等と連携することにより、高等教育機関の知見を活用した各種施策の推進と、町内の子ども達に進学等への関心をより一層深めていく。併せて県外出身者が多い学生に対し、活動を通じて、四万十町のファンとなるきっかけの場とする。

< 課題 >

●大学との継続的な関係性の保持、事業の受け皿となる庁内組織の確保。

**施策4 その他の取り組み**

実施状況

**■ クラウドファンディング事業**

新たな資金調達手段として、起業希望者や様々な取り組みを行う者に対して、クラウドファンディング等の紹介を行い、プラン実現に向けての推進力としている。

！北の海と海洋空フィギュア＆高知四万十町！をテーマとした特製フラフを作ります

！世界初！「本体回収機」を元にしたエキ アロンザ生。四万十町で製造、販売したい。



〔今年度実施プロジェクト〕 2件



施策1 暮らし・産業継承人材創出事業

**概要** 中山間地域の暮らしや産業を守り、次世代へと引き継いでいくため、若い農業者を対象に、仲間づくりと地域産業発展に向けた新たな仕組みづくりを主体的に学ぶ場を提供することにより、地域産業の担い手、地域リーダーを創出する。

**実施状況** > 農業者ネットワーク (“人と人、人と地域をつなぎ、現在と未来をつなぐ”)

参加者：44名（新会員4名）

内訳 ※1 地区別 / 窪川地区34名、大正地区3名、十和地区2名、中土佐町1名

新会員：窪川地区3名、黒潮町1名

※2 類型別 / 生姜14、施設園芸9、有機8、花卉3、畜産1、露地野菜2、椎茸1、法人等2

新会員：生姜1、民間企業3

■ 研修会・勉強会

会員提案

【戦略MG（マネージメントゲーム）農業経営版研修】

開催日時：令和元年5月18日（土） 09：00～17：00

講師：MGアクティブラーニング合同会社 代表 白城真也氏

内容：ゲーム盤を用いて参加者ひとり一人が経営者になり、仮想の自社農場を経営し、経営活動の様々な意思決定を実践していく能動的学習。

参加者：会員12名、会員外2名



【バイオシード資材に関する勉強会】

開催日時：令和元年8月21日（水） 15：00～17：00

講師：バイオシードテクノロジーズ株式会社 代表取締役 広瀬陽一郎氏

内容：土壌中の酸化還元電位のメカニズムを活用した生産性向上

参加者：会員17名





実施状況

■ 物流・販売部会

【産直トライアル第1弾 - 共同集出荷・消化仕入】

開催日時：令和元年10月12日（土）～10月13日（日）  
開催場所：MEGAドン・キホーテ西条玉津店（愛媛県西条市）  
協力企業：株式会社師定アグリ、佐川急便株式会社  
出荷者：四万十野菜合同会社（出荷者代表）、NW会員7名



〔売場の様子〕



〔推奨販売・三好さんご夫婦〕

【産直トライアル第2弾 - 四万十町フェア開催・買取仕入】

開催日時：令和2年2月4日（火）～2月12日（水）  
開催場所：シェフズマルシェ学芸大学駅前店（東京都目黒区）  
協力企業：株式会社ぱど、佐川急便株式会社  
出荷者：四万十野菜合同会社（出荷者代表）、NW会員9名



〔十和地区⇒集荷場〕



〔集荷場の様子〕

【アグリフードEXPO 大阪 2020出展】

開催日時：令和2年2月19日（水）～2月20日（木）  
開催場所：ATCホール（大阪市住之江区）  
事務局：高知大学次世代地域創造センター  
出展者：桐島畑、四万十町農業者ネットワーク



〔2/18 ブース設営〕



〔桐島畑〕



〔農業者NW〕

■ 生姜部会

実施状況

【高知大学受託研究】

研究題目：高知県四万十町のショウガ圃場の土壌特性および微生物環境に関する研究

研究期間：R1.4.19～R2.3.31

協力農家：農業者ネットワーク9会員

○土壌サンプリング調査 <<6月>>



○土壌断面調査 <<11月、12月>>



【低濃度エタノール土壌還元消毒 実証圃設置】

実施主体：高知県 須崎農業振興センター 高南農業改良普及所

実証期間：R1.6.20～R1.11.30

協力農家：農業者ネットワーク2会員、JA生産部会3名



課題・方針等

- ◎ 専門部会の事業目標設定及び具体的活動の実行と改善を行う。
- ◎ 事例を一つひとつ積み上げていく地道な活動を展開し、農業者NWの取組みの浸透と組織体制の確立を図っていく。



施策2 町内事業者人材育成支援事業

概要

産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対し、社員教育の重要性について啓蒙するとともに、人材育成計画等の策定や中核人材の育成、確保に向けた取組みを支援する。

実施状況

① 経営者セミナーの開催 (共催 四万十町商工会・にぎわい創出課)

講師：吉井裕之氏 (高知県移住促進・人材確保センター／中小企業診断士)

備考：「個別相談会」⇒「社員研修促進事業費補助金」

相談員 植田和彦氏 (同センター 求人支援コーディネーター西部担当)

【第1回】開催日：令和元年7月19日(金)

テーマ：『対人スキル』

サブ：“職場のやりづらい人に動いてもらう”

受講者：4事業所 4名

【受講者の声】

会社に帰って従業員でタイプ診断を行ってみたい。  
会社での活用方法についても話を聞きたかった。  
自分のタイプが良くわかり参考になりました。



【第2回】開催日：令和元年9月20日(金)

テーマ：『社内コミュニケーション』

サブ：“人材確保ができる会社づくりのヒント”

受講者：7事業所 7名

【受講者の声】

さっそく今日からやってみます。  
参加者で共有する時間は良いと思います。  
他社の方々の意見が聞けて勉強になりました。



【第3回】開催日：令和元年12月4日(水)

テーマ：『人事ポリシー』

受講者：2事業所 2名

【受講者の声】

具体的に人事ポリシーの重要性が理解できた。  
弊社にとってタイムリーな内容であった。





実施状況

【第4回】開催予定日：令和2年3月17日（火）  
クレーム対応セミナー  
テーマ：『難易度の高いクレームの対処法』  
サブ：“モンスタークレマーは怖くない”

新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から  
開催中止を判断した。



《経営者セミナーの様子》



②新入社員・若手社員合同研修の開催（共催 四万十町商工会・にぎわい創出課）

講師：吉井裕之氏（高知県移住促進・人材確保センター／中小企業診断士）

【第1回】開催日：令和元年6月6日（木）

テーマ：『仕事に必要なコミュニケーション力を養う』

受講者：3事業所 6名 / 町役場新採職員 14名 計 20名

【受講者の声】

他業種の方々と交わる機会となって良かった。  
上司のタイプ別対応について職場で活用する。  
ワークの進み方がリズムカルで楽しかった。  
新入社員だけではなく、管理職くらいの方々もや  
った方が良くと思う。



課題・方針  
等

- ◎ 本事業の継続性の確保（関係機関・外部講師との緊密な連携、意思疎通）
- ◎ セミナーを通じて派生する個別支援策の拡充
- ◎ 事業成果の検証方法・評価指標の具体化